

地域の年中行事④「十三夜のワラデッポウ」

十三夜の晩に福良小学校に通う子どもたちが町内の各家をまわり、ワラデッポウを打ち歩く行事です。

かつては、多くの地域で行われていましたが、現在（平成28年10月）では、本校の学区内に8つある自治会の中で、「新川」と「下高椅」の2自治会でのみ行われています。（「新川」では十五夜と十三夜の2回、「下高椅」では十五夜か十三夜のいずれか1回行われています。）

子どもたちは、「下高椅」は午後5時30分、「新川」は午後6時に地元公民館に集まり、その後、『大麦あたれ！、小麦あたれ！、三角畑にそばあたれ！、大豆も小豆もみなあたれ！、もう1つおまけに、打ってやれ！』と大声で叫んで、ワラデッポウを打ちながら地区内の家々を回ります。（夜道での安全確保のため、保護者が付き添います）

◇平成28年10月13日(木)、下高椅自治会での「ワラデッポウ」のようす



午後5時30分、子どもたちが公民館に集まります。



その後、地区内を保護者と一緒に回ります